

2025 年 10 月 18 日 自然を語る会

- 場所：東京ボランティアセンター+Zoom
- 参加者：10 名

海洋プラスチック汚染の現状について、関連する動画や記事を見ながら振り返り、意見交換をしました。胃袋の中がプラスチックで一杯になって死んでしまった海鳥や、海岸一杯に打ち上げられたプラスチックごみなどの映像は、衝撃的でした。人類の生活を飛躍的に便利にしてくれたプラスチックですが、2050 年には海の中を漂うプラスチックの量が魚の量を上回ると予測されており、便利さを捨てて手を打つ必要があります。国連環境計画を中心に協議を進めているプラスチック条約の今年の交渉は、残念ながら合意に至らなかったようです。

対策として、天然素材の製品を選ぶなどプラスチック利用を減らす、子供達に海洋プラスチック汚染のことを学ばせる、汚染の実態の動画を拡散する、などの意見が出されました。

参考) 本日参照した海洋プラスチック汚染に関する動画・記事(下線部分にリンクを貼ってあります)

1. 海洋プラスチック汚染とは：「[プラスチックの海](#)」(国連、動画)
2. そもそもプラスチックとは：「[プラスチック 101](#)」(ナショナルジオグラフィック、動画)
3. 人体への影響：「[人の肺からプラスチック](#)」(毎日放送、動画)
4. プラ規制条約の交渉状況：「[Talks on global plastic pollution treaty adjourn without consensus](#)」(2025/8/15 国連、記事)

海を漂うごみの 8 割以上は陸地から川を経て、海に流れ込んでいます。私たちにできることの一つとして、本日は陸地のごみ拾いを行いました。天候に恵まれ、爽やかな秋晴れの下、日頃お世話になっている飯田橋のボランティアセンター周辺と、Zoom 参加の方は自宅の周辺で、一斉にごみ拾いを行いました。(原田記)

